

令和7年度をふりかえって

糸島市人権・同和教育推進協議会可也支部
支部長 柴田 潔

いよいよ令和7年度が終わりを迎えようとしています
が、今年度も計画どおりに事業を実施することができました。
これもひとえに行政区長をはじめ可也校区の皆様、
可也支部の関係者の皆様のおかげです。ありがとうございます
でした。

特に、7月の人権講演会では人権という範囲を少し
広げて、動物や環境に関わる「ワンヘルス」について、
県認定ワンヘルスマスターの土岐沙也香さんの講演会
を行いました。また12月の人権映画祭では、「老後の
資金がありません」という映画を上映しました。みなさん
も少なからず意識をされていることだとは思いますが、
将来の心配なことが少し軽くなったような映画だったと
思います。

こうした取り組みをとおして、私たちを取り巻く社会に
は、「人権」を意識しなくても、いたるところに人権と関わる
ことが潜んでいるように感じられました。人を思いやる
ということを常に意識していくことが、大切だと思いま
した。

来年度も可也支部において、人権についての取り組み
が行われていくと思います。引き続き皆様のご協力をお
願います。

最後になりますが、可也小学校の6年生が人権標語を
一生懸命考えてくれました。また、3年生は、人権の花ひま
わりを育ててくれました。猛暑の夏にも丁寧に水やり
を行ってくれて、大きく立派に育ち、たくさん種が付きま
した。10月には、その種を風船に乗せて大空に飛ばすこと
ができました。

可也小学校の皆
さん、ありがとう
ございました。



ひまわりの種飛
ばしの様子

◎令和7年度事業報告

月	日	内容	備考
4	19	市同協可也支部総会	ふれあい
5	13	ひまわり運動	ひまわりの種まき
7	12	街頭啓発活動	糸島イオン駐車場
7	12	人権講演会	土岐沙也香先生
10	2	ひまわり運動	ひまわりの種飛ばし
10	25	フィールドワーク	大牟田市方面
11	22	校区文化祭展示	人権標語 ひまわり運動
12	6	街頭啓発活動	糸島イオン駐車場
12	6	人権標語表彰式	可也小6年生児童
12	6	人権映画祭	老後の資金がありません 上映
行政区人権研修		稲留・大石・馬場行政区で実施	
人権標語		可也小6年生児童103作品	
メッセージ募集		「ちいさなありがとう」メッセージ	
広報		「可也人権だより」 6月・11月・1月・3月発行	

地域の人権学習会

・12月21日(日) 馬場公民館で開催されました。
「高齢化社会のひきこもり問題について」



馬場行政区人権研修会の様子

高齢化社会に
おける、さまざ
まな問題を
自分事として
捉えるよい
機会となりま
した。

可也小 人権 標語

可也小6年生による人権標語の取り組みで、佳作となった3作品を紹介します。

変えないで 自分らしさは 宝物
気にしない 自分らしさを 大切に

助け合いで 幸せ作る 平和な人権

教えてください！ あなたの「ちいさなありがとう」

1月に募集しました、「ちいさなありがとう」メッセージへ、多くの方にご応募いただきました。ありがとうございました。その中から10作品を紹介します。

3人姉弟の末っ子の、貴方が2人の母になりました。障がいを持って産まれた姉がいたから小さな頃から我慢ばかりさせましたね。でも今は素敵な彼と出会い私達に新しい家族が出来ました。幸せになってくれてありがとう。

いちごさん (62才 津和崎)

わたしには、あにがいます。たまにけんかをしてしまいますが、あには、べんきょうをおしえてくれたり、わすれものをとどけにきてくれたり、やさしいです。わたしは、そんなあにが好きです。だから、あににありがとうとつたえたいです。

なまはむかりんとうさん (7才 新開)

仕事も定年退職し地域の役員も終え、私はずいぶん朝寝坊するようになりました。そんな私にも、妻は毎朝レンジの前に一杯のご飯と少々のおかずをラップをかけて朝食の準備をしてくれています。ありがとう！

プー太郎さん (69才 ひかりが丘)

ぼくには、そばがいます。よくへんなことをしておこられてしまいますが、そばは、洗たくの達人です。どうしてかという、みんながあきらめそうな、洋服のシミやよごれも「大丈夫、きれいになるよ。」ときれいにしてくれます。いつもありがとう。

はるきさん (10才 新開)

スーパーで買い物中の私の前に、突如現れた幼い子が、私の目をじっと見つめてニコッと笑い、お母さんの所へかけて行きました。その、すきとおった瞳に元気をもらえた事に感謝とありがとう。幸せをくれた笑顔にありがとう。

ハッピーグランドマザーさん (72才 師吉)

仕事から帰ってきたら「疲れた」とぼーっとしてしまふことがあります。そういう時に目線を下げると愛犬が私を見あげています。我に返り、愛犬をぎゅーっと抱きしめるとあっという間に疲れが取れて家のことをすることができます。私の家に来てくれた愛犬達へありがとうと言う毎日です。

ぶうさん (36才 新開)

私の3人の子ども達がとても元気に育ってくれている事に感謝です。兄が病気になり、去年は健康についてとても考えさせられました。健康は当たり前な事ではありません。隣で当たり前に怒ったり泣いたり笑ったりしている子ども達にただただ感謝です。ありがとう。

あんなさん (38才 新開)

このあいだ、地いきの方から、笑顔であいさつをしていただきました。笑顔であいさつをしていただくと、とてもいい気持ちで一日をすごせました。そして、とてもうれしくなりました。地いきの方へありがとうを伝えます。「ありがとう。」

大きな木さん (11才 薫る坂)

昨年、秋ごろから初川の竹ヤブの伐採ありがとうございました。ここ数年、頑張っただけで咲いているつつじも、竹に隠れてみることができませんでした。以前は、みごとに咲いているつつじを誇りに思っていました。今年の春にはきっと美しく楽しみです。

さるかにさん (69才 稲葉)

昨年の9月に、8人目の孫が生まれました。12月、わが家に来てくれて抱っこしました。寒かったけど、この子の温もりを感じました。自分の子育てを思い出し、これからも孫の笑顔を見る為に、日々頑張ろうと思いました。

石橋久美子さん (60代 師吉団地)

今回もたくさんのお応募をいただきありがとうございました！

応募をいただいた全ての作品が、それぞれの体験をもとに、素晴らしい「ありがとう」がつづられており、心を満たされつつ選考をさせていただきました。

紙面の都合上10作品となりましたが、作品を通して人と人との繋がりから生まれる「ありがとう」を、読者の方も感じていただければ嬉しいです。

全ての作品に感謝と尊敬の意を込めてお礼申し上げます。

糸島市人権・同和教育推進協議会可也支部 人権・同和教育指導員 吉村 忠士

